

## 鴨沂高等学校同窓会 理事会 議事報告（要約）

開催日時： 平成 25 年 1 月 26 日（土）16 時～18 時

場 所： 鴨沂会館新館会議室

出 席： 理事 15 名および岡井特別顧問、佐々木氏（21 期・オブザーバー） 計 17 名

議 長： 山崎理事長

- 資 料： ① 平成 24 年度前期会計報告  
② 平成 24 年度前期会計監査報告書  
③ 校舎改築特別会計（案）平成 24 年 5 月 26 日～平成 26 年 3 月 31 日  
④ 3 委員会の所属理事担当表  
⑤ 同窓会入会案内の試案（官製はがき）  
⑥ 会長メモ  
⑦ 新聞記事「公立高『新入試』を可決」  
⑧ 鴨沂高校に関するその他の新聞記事 3 種類（カラー版）

### ●上野会長 挨拶

校舎の改築の新聞記事とテレビ大河ドラマ「八重の桜」の放映のお陰で鴨沂高校への関心が高まり、反響の大きさに驚いている。中には、改築反対意見もあるが、耐震能力の関係上改築は決定されている。京都府も府庁旧本館で「観桜祭」と称して八重の関連イベントを 3 月 20 日から企画しており、鴨沂高校がまわりから注目されていることを良きチャンスとして高校が高く評価されていくように同窓会として努力したい。

### ●報告・審議事項

- \*平成 24 年度前期（9 月 30 日迄）の会計報告が南会計理事より行われた。（資料①）
- \*戸川監事より 1 月 12 日（土）に戸川監事・廣瀬監事・南会計理事・金子事務局理事の 4 名で会計監査を行い異常がないことの監査報告がなされた。（資料②）
- \*南会計理事より、資料③の校舎改築特別会計の科目別振り分け表が案として提示された。山崎理事長から記念事業費の内 20 万円を予備費という科目に移項しては、というアドバイスがあり全員一致で承認された。
- \*18 期の小林理事が一身上の都合で退任希望をされていた件が承認された。
- \*廣瀬監事から本日オブザーバー出席の 21 期佐々木佳継氏を理事への推薦説明があり、満場一致で承認され、理事一同拍手にて歓迎した。
- \*今年 3 月に卒業する第 65 期生へ卒業記念品贈呈と同窓会案内をする件について、岡井特別顧問から「今回は、卒業式前の登校日に案内をしてはどうか。」との意見があった。また、上野会長と山岸校長との間でも、2 月 28 日が卒業式予行の登校日になっているので担任から渡してもらおう案が出ているとの説明があり、出席理事全員が一致して、実行することを決めた。（資料⑤）
- \*それに伴い、「第 65 期卒業生の皆様へ」と印刷した角 2 封筒の中に、A4 の同窓会入会案内文、記念品のボールペン、「同窓会入会登録書」と印刷した返信はがき、平成 23 年発行の同窓会報第 9 号、会費の払込票、を同封することとした。

- \*その先の第 66 期生以降への同窓会勧誘については、高校と十分打合せをし、現会則の見直しも兼ねて、今後理事会で充分検討することを決めた。
- \*資料委員会撮影班・班長として太田理事から 12 月 23 日に、カメラマンは前田理事と応援員の鈴木氏（21 期）、大鉢氏（18 期）の手で、物理的理由で無理だった被写体以外の撮影を終えたことの報告があった。
- \*ビジョンについて会長から、資料⑦の記事は全国唯一だった総合選抜（居住地で合格校を振り分け）から単独選抜（学校ごとの可否）への全面移行を決定し、2014 年度入試から実施するについて掲載されており、中学生が自らの将来について考えて主体的に高校を選抜することを目指すという内容であるとのこと。この単独選抜で鴨沂高校が受験生に選ばれる高校になるためにビジョンを明確に示す必要がある。ビジョンとしては、日本の伝統文化を継承している学校と認識し、文化教育活動を通じて情報発信していく学校になるためにすすめている鴨沂高校ビジョン提言について考慮が必要との説明があった。つづいて様々な意見が出たが、ビジョンをまとめていくには、むしろまとまりにくい将来に期待する動機付けのために、もっと高校や府教育委員会との連携そして調査や議論が必要との結論となった。
- \*財務関連では、3 委員会に所属する各理事に今後の記念事業の運営について充分検討し成功できるように努力する。資料④のリストにまだ載っていない理事には、再度所属の意志を事務局で確認をする

以上